

*2024年5月1日 (第4版)
2017年11月20日 (第3版) (新記載要領に基づく改訂)

届出番号 27B1X00011E00001

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
一般医療機器 排泄バック (JMDNコード: 70308000)

ユレシル ドレナージバッグ

(TCS****: サクシヨンドレナージバッグ)

再使用禁止

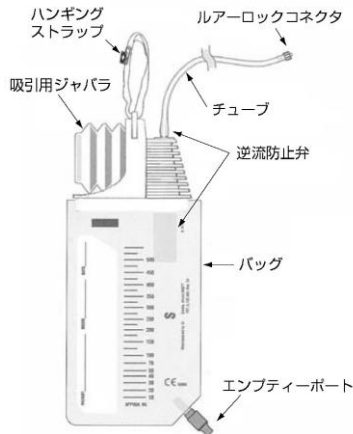
【禁忌・禁止】

使用方法

再使用禁止。

【形状・構造及び原理等】

形状



【使用目的又は効果】

ドレインチューブを接続する、1つ又は2つのチャンバからなるプラスチック製の排泄バックをいう。胸腔又は腹腔ドレナージに接続し、胸腔又は腹腔から血液、空気、膿状分泌物を除去するために用いる。

注) 本品は、特に膿瘍の吸引ドレナージに用いる。

【使用方法等】

使用方法

1. 本品のチューブの長さを調節する場合は、チューブを逆流防止弁上部から、もしくはルアーロックコネクタから引き抜く。チューブを希望する長さに切断し、再度コネクタの付け根まで、充分に差し込む。
2. 本品のルアーロックコネクタをドレナージカテーテル又はドレインチューブに接続する。
3. ハンギングストラップを用い、ドレナージ部位よりも低い位置にドレナージバッグをつるす。
4. 本品のエンプティポートを右回りに回して閉じる。
5. 本品で吸引を行う場合、吸引用ジャバラを奥まで深く押ししてから離し、ドレナージカテーテルから吸引排泄する。この時、何度も吸引用ジャバラを押さないこと。一度吸引排泄が始まれば自動的にバッグに排泄が流れ込む。排泄が溜まり吸引用ジャバラが反応しなくなると、ドレナージバッグは重力排泄に切り替わり、排泄の逆流を防ぐ。
6. バッグに溜まった排泄はエンプティポートを左に回し排出する。排出後、エンプティポートを右回りに回して閉じる。吸引排泄が再度必要な場合は、吸引用ジャバラを押し吸引用ジャバラ内の排泄をバッグ内へ排出することにより、再度吸引排泄を行うことができる。
7. 本品はバッグ内に発生する空気圧に十分に耐え、余分な空気は排出される仕様になっているが、人為的に空気を排出したい場合はドレナージバッグのジャバラ部

を上縦向きに持ち、バッグ内の空気を手でやさしく絞り出すこと。

8. 本品には日付や患者名、排泄量等を書き込める記入スペースがある。書き込む際は吸引用ジャバラ内の廃液をバッグ内に完全に排出し、集められた排泄の概量を確認すること。なお、バッグの目盛りは目安である。
9. 本品とドレナージカテーテルの接続を外す際は、外す前に再度ジャバラを押して離し、ドレナージカテーテルとジャバラ内の排泄をバッグ内に完全に排出しておくこと。

使用方法等に関連する使用上の注意

1. 開封前には必ず、滅菌包装に破れ等の損傷又は水ぬれが無いことを確認する。
 2. 本品の使用前には、適切な機能を妨げるような破損箇所、その他の欠陥が無いことを確認する。
 3. 本品のコネクタとカテーテルハブを接続する際は、確実に行うこと。
 4. ジャバラを押す際は、ドレナージバッグの折れ曲がりや伸ばし、ドレナージを妨げないようにしておくこと。
- *5. 悪臭や破損が見られた場合は、新しいものに取り換えること。

【使用上の注意】

重要な基本的注意

1. 吸引時の陰圧により正常組織に損傷を引き起こす可能性のある症例及び部位には使用しないこと。
 2. ドレナージバッグの設定容量まで排泄が溜まった場合、またはドレナージを終了した場合は、本品をシステムごと廃棄すること。
 3. 本品のドレナージバッグに表示されている mL 目盛は目安として使用できるが、計測には使用しないこと。
- *4. 本品については、試験による MR 安全性評価を実施していない。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

水濡れに注意し、直射日光、高温多湿及び衝撃等を避けて保管すること。

有効期間

製品ラベルに表示。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

【製造販売業者】

スーガン株式会社
TEL (06) 6354-6181

【製造業者】

ユレシル社 (UreSil, L.L.C.)、アメリカ

ご使用に際し、ご不明な点などありましたら、発売元までお問い合わせください。

【発売元】



信頼をかたちに

大阪市北区東天満 1 丁目 12 番 10 号 〒530-0044

<https://www.sheen-man.co.jp>

TEL. (06) 6354-7702 FAX. (06) 6354-7114